

秋の図書館講習会を開催します！

	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI
	10/19	10/20	10/21	10/22	10/23
午前	国内	海外	海外	レポート	プレゼン
午後	レポート	プレゼン	新聞	国内	海外
	10/26	10/27	10/28	10/29	10/30
午前	レポート	国内	プレゼン	海外	レポート
午後	海外	レポート	海外	プレゼン	国内
	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6
午前	プレゼン	—	国内	新聞	—
午後	国内	—	プレゼン	海外	—

実施期間・内容は左の日程表で確認してください。
当日参加も大歓迎です。ふるってご参加ください！

時 間：午前10:30～12:00 午後2:40～4:10

予約優先：参考調査カウンター・電話・E-mailにてお申し込みください

連絡先：附属図書館情報リテラシー担当
(電話) 059-231-9089
(メール) literacy@ab.mie-u.ac.jp



- 国内** ← CiNiiを使って国内の文献を探します
- 海外** ← Web of Scienceを使って海外の文献を探します
- レポート** ← レポートの書き方の入門です
- プレゼン** ← プレゼンテーションをするための入門です
- 新聞** ← データベースを使って新聞記事を探します

展示図書コーナー新着図書

(2009年1月～6月発行分)

- 畑中重光 副学長／『鉄筋コンクリート構造：理論と設計』
谷川恭雄 [ほか] 著. 第3版, 森北出版, 2009.3 [524.7/Te 31]
- 目崎茂和 名誉教授(人)／『天空の神話：風と鳥と星』 篠田知和基 編. 楽蔭書院, 2009.3 [162/Te 36]
- 久野和宏 名誉教授(工), 野呂雄一 工学部准教授／『音響学ABC：音・振動との出会い』
久野和宏 [ほか] 著. 技報堂出版, 2009.2 [501.24/0 66]
- 安食和宏 人文学部教授／『現代東南アジア入門』
藤巻正己, 瀬川真平 編. 改訂版, 古今書院, 2009.3 [292.3/G 34]
- 濱森太郎 人文学部教授／『松尾芭蕉作『野ざらし紀行』の成立：文字データベースによる用字解析』
濱森太郎 著. 三重大学出版会, 2009.2 [915.5/H 22]
- 山中 章 人文学部教授／『桓武と激動の長岡京時代』
国立歴史民俗博物館 編. 山川出版社, 2009.1 [210.36/Ka 56]
- 片山直之 医学部教授／『血液内科ベッドサイドメモ』
小松則夫, 片山直之 編 著. 中外医学社, 2009.6 [493.17/Ko 61]
- 金子聡 工学部准教授／
『Photo/electrochemistry & photobiology in environment, energy and fuel』
chief editor, Santoshi Kaneco ; editors, Kunihiro Funasaka, Yoshinori Arachi. Research Signpost, 2009 [572/P 56/2009]
- 松浦健治郎 工学部助教／『住民主体の都市計画：まちづくりへの役立て方』
住民主体のまちづくり研究ネットワーク 編 著. 学芸出版社, 2009.3 [519.8/J 94]
- 木村清志 生物資源学部 教授水産実験所長／
『Fishes of Andaman Sea, west coast of southern Thailand』
edited by Seishi Kimura, Ukkrit Satapoomin and keiichi Matsuura. National Museum of Nature and Science, c2009 [487.52237/F 28]

【見かた】→ 寄贈者 所属／『書名』 著者, 出版社, 出版年月【請求記号】

※本の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。

編集後記



●表紙の写真：表紙の写真はインターンシップで図書館へ来ていただいた伊藤さん(左)、清川さん(右)です。お二人には資料の整理や受け入れ、他館からの文献取り寄せ、カウンター業務などを体験していただきました。

「音痴」という言葉を聞くと、筆者などは『広辞苑』第1版の定義「生理的欠陥によって正しい音の認識と鑑賞と記憶とができないこと。」が、この定義の後半部分の各語の頭音を並べるとニンカンキとなる語呂のよさもあって覚えやすく記憶に染みついていて、すぐに頭に浮かんでくるが、弓場先生のインタビュー記事に目を通した今回は、それとともに、風呂の中で少年合唱団の団員だった弟に、簡単に言えば歌がへただということを書信的に言うところなるのだと兄貴風を吹かして説明した中学生の頃のある夏の日の夕方が鮮やかに想い出された。